

第45回

## 乳幼児による加熱式たばこの誤飲に注意 —最近では金属片が内蔵されたスティックの誤飲も—

### 事故情報

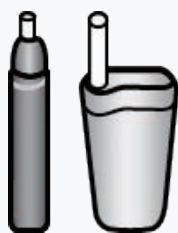
普段はこたつの中央に置いてある灰皿を保護者がこたつの端に寄せた際に、子どもが手を伸ばして中の吸い殻を誤飲してしまった。金属片を内蔵したもので、腹部レントゲンで胃内に金属片が認められた。吐き気をもよおし、ニコチン中毒症状出現のおそれがあったため、胃洗浄を実施。胃管からの吸引物に血液が混じっており、金属片による粘膜損傷が疑われた。ニコチン中毒症状のため、1日入院。金属片は退院後に自然排出された。

(7カ月・男児)

「加熱式たばこ」(☒)は、たばこ葉やそれを加工したものを燃焼させずに電氣的に加熱し、エアロゾル(霧状)化したニコチン等を吸入するたばこ製品で\*、喫煙後の吸い殻をそのままごみ箱に捨てても、火災の危険はないとされています\*。

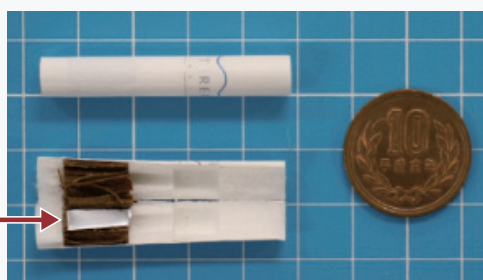
一方で、乳幼児が加熱式たばこのたばこ葉の入ったスティックやカプセル(以下、スティック等)を誤飲する事故が後を絶ちません。

☒ 加熱式たばこ  
(イメージ)



また、近年発売された、誘熱体として金属片が内蔵されたスティック\*(写真)を誤飲する事故も起きています。

写真 金属片が内蔵されたスティックの外観と分解写真



金属片

### ●テスト結果をもとにしたアドバイス

(1) テーブルや机の上に置いていたものや、ごみ箱の中にあつた吸い殻を誤飲した事故が多くみられました。使用前後のスティック等は乳幼児の手や目が届かない場所に保管・廃棄しましょう。受動喫煙が生じる可能性もありますので、喫煙を控えることも検討しましょう。

(2) スティック等1本分のたばこ葉には、吐き気・嘔吐をもよおす可能性がある量のニコチンが含まれていました。乳幼児がスティック等を誤飲した場合は、たばこ葉が口の中に見えるようであれば、できる限り取り除いてください。

水や牛乳などは飲ませずに、誤飲した加熱式たばこのパッケージを持って直ちに医療機関を受診しましょう。

(3) 金属片が内蔵されたスティックには、「本製品には飲み込むと大ケガにつながりかねない<sup>とが</sup>尖った金属片が含まれています」との注意表示があります。乳幼児がいる環境に喫煙者がいる場合は、日頃から、吸っている加熱式たばこの銘柄やタイプを、乳幼児の周囲の人も知っておくようにしましょう。

\* 国民生活センター「なくならない乳幼児による加熱式たばこの誤飲に注意—最近では金属片が内蔵されたスティックの誤飲も—」[報告書本文](2022年12月21日公表) [https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20221221\\_3.pdf](https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20221221_3.pdf)